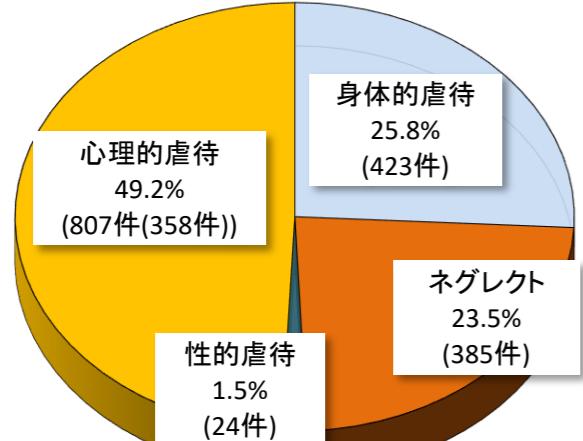


## 令和4年度 児童虐待相談の状況について(県内児童相談所受付)

資料2-3

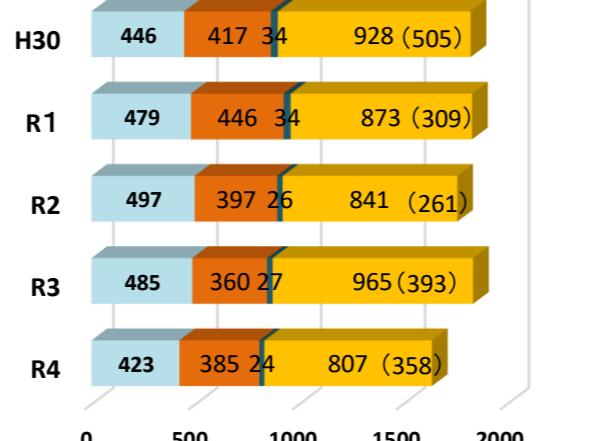
### 主たる虐待の種類

R4種類別件数内訳



※心理的虐待の( )内は面前DVの数

種類別件数の推移

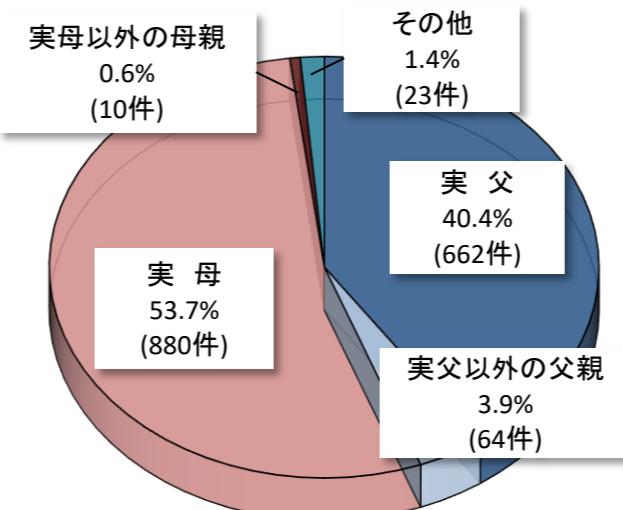


■身体的虐待 ■ネグレクト ■性的虐待 ■心理的虐待  
※心理的虐待の( )内は面前DVの数

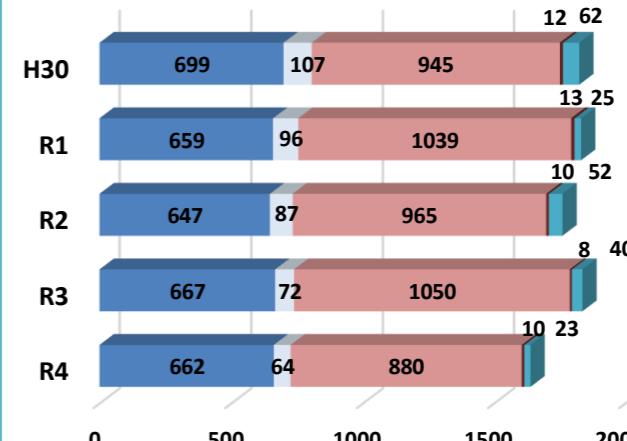
「心理的虐待」の件数が最も多く、次いで「身体的虐待」「ネグレクト」の順に多い。前年度と比較すると、ネグレクトの件数が増加し(25件増・6.9%増)、心理的虐待(158件減・16.4%減)、身体的虐待(62件減・12.8%減)の件数が減少している。心理的虐待の件数が全体の約半数を占めており、前年度と同様の傾向である。

### 主な虐待者

R4主な虐待者の件数内訳



主な虐待者の推移

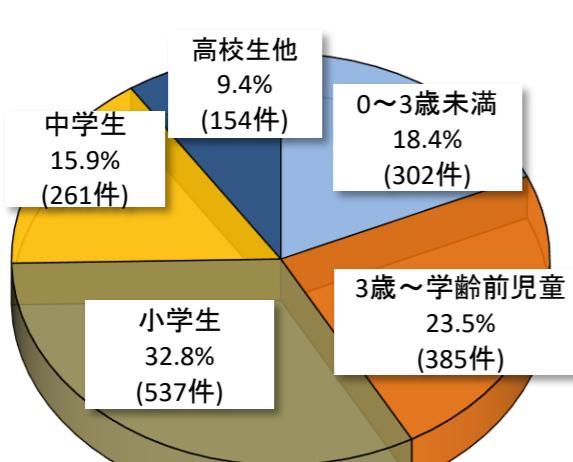


■実父 ■実父以外の父親 ■実母 ■実母以外の母親 ■その他

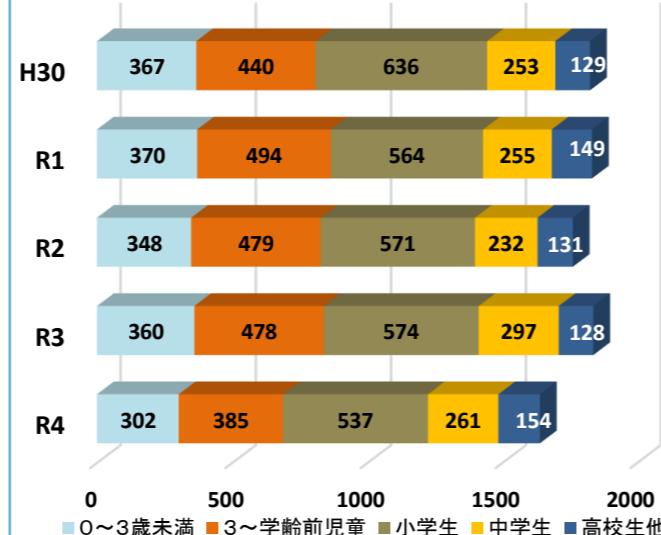
「実母」の件数が全体の半数以上を占め、「実父」と合わせた「実親」の件数が、全体の9割以上を占めている。前年度と比較して「実母」の件数が減少(170件減・16.2%減)したが、「実父」「実父以外の父親」「実母以外の母親」の件数に大きな変化はない。虐待者別の割合の傾向についても、「実母」の割合は減ったが、前年度とほぼ同様である。

### 被虐待児の年齢

R4年齢別件数内訳



年齢別件数の推移

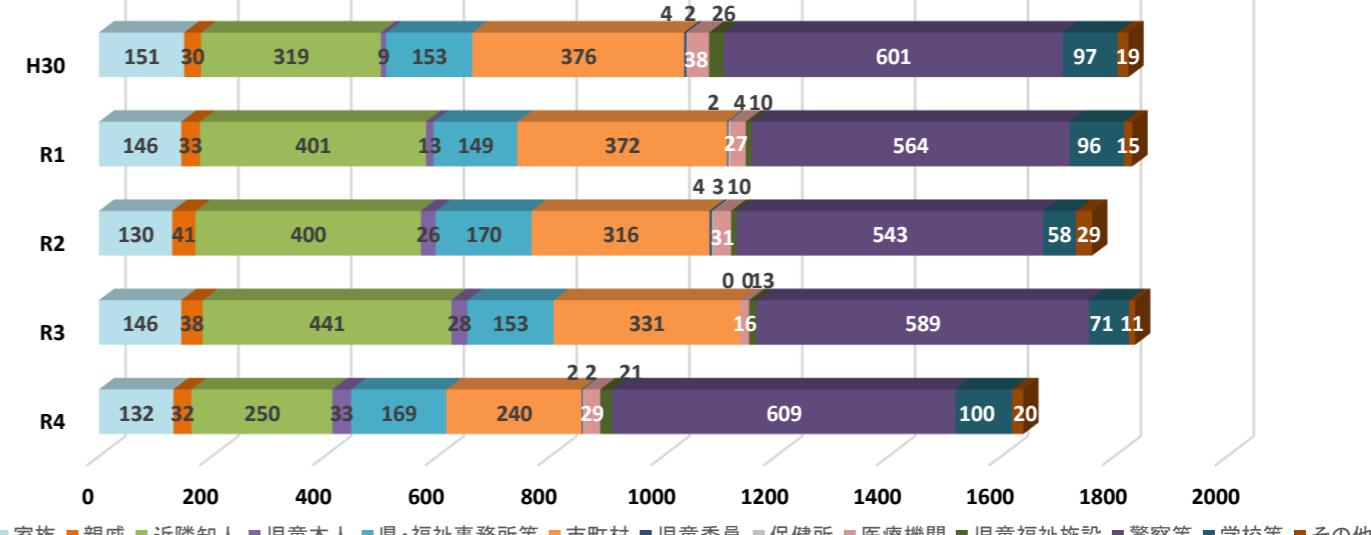


■0～3歳未満 ■3歳～学齢前児童 ■小学生 ■中学生 ■高校生他

前年度と比較すると、「高校生他」が増加(26件増・20.3%増)し、「0～3歳未満」(58件減・16.1%減)、「3歳～学齢前児童」(93件減・19.5%減)、「小学生」(37件減・6.4%減)、「中学生」(36件減・12.1%減)の年齢別件数は減少した。年齢別の割合の傾向については、前年度とほぼ同様である。

### 虐待通告の経路

種類別件数の推移



■家族 ■親戚 ■近隣知人 ■児童本人 ■県・福祉事務所等 ■市町村 ■児童委員 ■保健所 ■医療機関 ■児童福祉施設 ■警察等 ■学校等 ■その他

関係機関からの通告では「警察等」「近隣知人」「市町村」の順に件数が多い結果となっている。前年度と比較すると、「警察等」で件数が増加(20件増・3.4%増)したが、「近隣知人」(191件減・43.3%減)、「市町村」(91件減・27.5%減)でとくに減少が見られた。